【別紙１１】鉱山保安MSツールの修正項目一覧　青字が判定チェック項目に関して修正・追記した箇所になります。（各設問の改正方針は修正根拠シートをご参照ください）

本一覧は、鉱山保安MSツール（判定チェック項目、手引書、ガイドブック）の修正内容をまとめたものになります。

現行		改正案(ヒアリング結果を踏まえた反映)	備考（改正案の根拠など）	修正根拠			修正箇所	
チェックリスト	判定チェック項目			重点項目	類似している可能性が高い項目（括弧内は類似性している可能性が高い項目）	理解しにくい項目	手引書	ガイドブック
Q1 経営トップは、鉱山労働者に対し自らの意思としてリスクアセスメントの重要性を表明し、これを推進するための経営資源（組織・予算等）を整備しているか。	5. 経営トップの表明内容を鉱山労働者が理解している。	Q015 経営トップ（鉱業権者、保安統括者等）の表明内容を鉱山労働者が理解している。（災害発生と関連性が大きいとされる取組内容であるため、特に重要です。取組に着手し、現在の取組内容を深化させられれば、災害のリスクを減らすことが期待できます） ＜手引書P46FAQの⑨ Q1-5 “鉱山労働者が理解している”とは、何をもって判断すればよいか。が参考になります＞ 手引書の用語解説の経営トップ欄の解説を以下のように修正（手引書_用語解説_経営トップ（鉱業権者、保安統括者等） を参照） 鉱山における方針および目標に関する最終的な責任を負う者であり、予算、人事権に関し権限を有する者を指します。自治体が運営している場合は、自治体の長ではなく保安統括者となっている担当課長などが該当します。また、大手系列の鉱山では、操業を行う法人の社長、所長クラスであっても上記権限を有する場合は経営トップに該当します。	ヒアリング対象鉱山から重点項目の観点での改正に対して、意見がなかったため変更なし	○	-	-	P8（用語解説） P10 P46（FAQ）	-
Q3 リスクアセスメントを実施するに当たり、対象作業・作業場所に関する情報を入手しているか？	5. 非定常作業についても、危険情報が抜け落ちないように留意している。	Q035 非定常作業についても、危険情報が抜け落ちないように留意している。（災害発生と関連性が大きいとされる取組内容であるため、特に重要です。取組に着手し、現在の取組内容を深化させられれば、災害のリスクを減らすことが期待できます） ＜ガイドブック P34の【ＰＯＩＮＴ ⑤】 洗い出しの際に用意すべき情報についてが参考になります。＞ ＜解説の下部に記載のある取組例が参考になります＞ ・手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ3-5を参照） ・手引書に重大リスクに関する情報の例についての解説を拡充（解説の拡充シート Q3 重大リスクに関する情報の例についてを参照）、この拡充に伴いQ034に重大リスクの解説を参照するように追記 ・上記同様にガイドブックP4の「2.2.2. 鉱山保安マネジメントシステム上の課題～とくに中小零細規模鉱山について～の対象鉱山労働者の主な課題」に記載してある重大リスクの欄に重大リスクに関する情報の例を追加 なお、鉱山保安MSは鉱山保安法に基づき、鉱山労働者の危険性（健康被害は除く）に関わるリスク低減を主な目的としております。そのため、地域コミュニティへの影響、健康被害、環境影響の記載は、今回の修正範囲外とさせていただきました。 ・手引書にガイドブック P34の【ＰＯＩＮＴ ⑤】 洗い出しの際に用意すべき情報についてが参考になります。と追記	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	○	○ （Q045）	-	P14 P15	P4
Q4 入手した情報から保安を害する要因（リスク）について鉱山労働者を	3. 特定した危険性又は有害性を記録し、保存している。	Q043 特定した危険性又は有害性を記録し、保存している。	ヒアリング調査を行った結果、Q052とQ043、Q062とQ043は内容の判別ができるとの回答が得られた。そのため、判定チェック項目の内容は改正せずに現行のままとし、取組例やガイドブックへの対応箇所を明示することを検討	-	○ （Q052） （Q062）	-	P16	-
	5. 非定常作業についてもリスクの特定を行っている。	Q045 非定常作業についてもリスクの特定を行っている。 ＜ガイドブックP13のステップ1危険有害要因を洗い出す、P32【POINT②】のリスクの洗い出しが参考になります。＞	ヒアリング調査を行った結果、Q035とQ045は内容の判別ができるとの回答が得られた。そのため、判定チェック項目の内容は改正せずに現行のままとし、取組例やガイドブックへの対応箇所を明示することを検討	-	○ （Q035）	-		
Q5 特定したリスクの大きさについて鉱山労働者を交えて見積もっているか？	2. リスク見積もりの結果を記録し、保存している。	Q052 リスク見積もりの結果を記録し、保存している。 ＜ガイドブックP15ステップ2リスクの見積りが参考になります。＞	ヒアリング調査を行った結果、Q043とQ052、Q062とQ052内容の判別ができるとの回答が得られた。そのため、判定チェック項目の内容は改正せずに現行のままとし、取組例やガイドブックへの対応箇所を明示することを検討。	-	○ （Q043） （Q062）	-	P18	-
Q6 見積られたリスクに対して、対策の優先度を設定するとともに、リスク低減措置を検討しているか？	2. 優先度の設定、リスク低減措置の検討結果を記録し、保存している。	Q062 優先度の設定、リスク低減措置の検討結果を記録し、保存している。 ＜ガイドブックＰ16のステップ3リスク低減措置の優先度を検討が参考になります。＞	ヒアリング調査を行った結果、Q043とQ062、Q052とQ062、Q072とQ062は内容の判別ができるとの回答が得られた。そのため、判定チェック項目の内容は改正せずに現行のままとし、取組例やガイドブックへの対応箇所を明示することを検討。	-	○ （Q043） （Q052） （Q072）	-	P20	-
Q7 リスク低減措置を設定した優先度に従い実施し、その実施状況を確認しているか？	2. 優先度に従い実施したリスク低減措置を記録し、保存している。	Q072 優先度に従い実施したリスク低減措置を記録し、保存している。 ＜ガイドブックＰ27のリスク低減措置後の評価改善①低減措置案の実施確認が参考になります。＞	ヒアリング調査を行った結果、Q062とQ072は内容の判別ができるとの回答が得られた。そのため、判定チェック項目の内容は改正せずに現行のままとし、取組例やガイドブックへの対応箇所を明示することを検討	-	○ （Q062）	-	P22	-
Q8 実施したリスク低減措置による効果を評価しているか？	2. リスク低減措置による効果の評価結果を記録し、保存している。	Q082 リスク低減措置による効果の評価結果を記録し、保存している。 ＜ガイドブックP27のリスク低減措置後の評価改善②リスク低減措置後の効果とリスクレベルの評価が参考になります。＞	ヒアリング調査を行った結果、Q092とQ082は内容の判別ができるとの回答が得られた。そのため、判定チェック項目の内容は改正せずに現行のままとし、取組例やガイドブックへの対応箇所を明示することを検討	-	○ （Q092）	-	P23	-
Q9 実施したリスク低減措置による効果の評価結果に基づき、措置の見直しを行っているか？	2. リスク低減措置の見直し結果を記録し、保存している。	Q092 リスク低減措置の見直し結果を記録し、保存している。 ＜ガイドブックP27のリスク低減措置後の評価改善③残留リスクの継続検討が参考になります。＞	ヒアリング調査を行った結果、Q082とQ092は内容の判別ができるとの回答が得られた。そのため、判定チェック項目の内容は改正せずに現行のままとし、取組例やガイドブックへの対応箇所を明示することを検討	-	○ （Q082）	-	P24	-

【別紙１１】鉱山保安MSツールの修正項目一覧　青字が判定チェック項目に関して修正・追記した箇所になります。（各設問の改正方針は修正根拠シートをご参照ください）

Q11:保安方針について、鉱山労働者に浸透するよう取り組んでいるか？	４．表明した保安方針を記載した「安全に関する手帳」や「ポケットカード」などを鉱山労働者が所持している。	Q114 表明した保安方針を鉱山労働者に対し繰り返し認識付ける取り組み、ツールなどがあるか 手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ11-4を参照）	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	-	-	○	P27	-
Q16：保安計画の各取組に対して目標（期待される効果等）を検討しているか？	３．保安計画の各取組に対して、期待される効果が検討されている。	Q16-3,4,5 手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ16-3、4、5を参照） ガイドブックP19に以下を追加します。 ※期待する効果の重要性 期待する効果を記載することで、取り組みの目的と意義が明確になります。何のためにこの計画を実行するのか、何を実現したいのかが明確に示されることで、鉱山労働者全員が同じ方向を向いて取り組みを進めることが期待できます。 ガイドブックP38に期待する効果の例を追加します。 ・リスクレベルが「すべて気になる」まで低下する ・活発な議論により、多くの検討がなされる ・手引書に期待される効果の例についての解説を拡充（解説の拡充シート Q16【解説】を参照）	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	-	-	○	P34 P35	P19 P39
	４．保安計画の各取組に対する期待される効果及び目標（値）を文書にしている。		ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	-	-	○		
	５．保安計画の各取組に対する目標は保安委員会又は鉱山労働者代表の意見を反映している。		ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	-	-	○		
Q17 保安計画が現場の鉱山労働者まで浸透し、一丸となって実行されるような仕組みになっているか？	2. 保安計画に基づく活動等を実施するに当たっての具体的内容の決定方法、経費の執行方法等保安計画を適切かつ継続的に実施する手順を定めている。	Q172 保安計画に基づく活動等を実施するに当たっての具体的内容の決定方法、経費の執行方法等保安計画を適切かつ継続的に実施する手順を定めている。（手順については、文書のほか、口頭による取り決めも含む。下記、3.及び5.についても同様。） <ガイドブックP21のステップ2保安計画を立案が参考になります。>	ヒアリング調査を行った結果、Q172とQ173は内容の判別ができるとの回答が得られた。そのため、判定チェック項目の内容は改正せずに現行のままとし、取組例やガイドブックへの対応箇所を明示することを検討	-	○ （Q173）	-	P36	-
	3. 上記2.[1]の手順を鉱山労働者に周知している。	Q173 上記2.[1]の手順を鉱山労働者に周知している。 <ガイドブックP24【計画の実施に関する工夫・留意点】が参考になります。>	ヒアリング調査を行った結果、Q173とQ172は内容の判別ができるとの回答が得られた。そのため、判定チェック項目の内容は改正せずに現行のままとし、取組例やガイドブックへの対応箇所を明示することを検討	-	○ （Q172）	-	P36	-
	4. 保安計画の実施に当たり、保安委員会又は鉱山労働者代表の意見を反映している。	Q174 保安計画の実施に当たり、保安委員会又は鉱山労働者代表の意見を反映している。（災害発生と関連性が大きいとされる取組内容であるため、特に重要です。取組に着手し、現在の取組内容を深化させられれば、災害のリスクを減らすことが期待できます） 手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ17-4を参照）	ヒアリング対象鉱山から重点項目の観点での改正に対して、意見がなかったため変更なし	○	-	-	P36 P37	-
Q18 保安計画は、その取組が予定どおり実施されているか確認できるようになっているか？	3. 保安計画の取組状況について、保安委員会等の会議の議題に入れ、確認できるようになっている。	Q183 組織の体制（仕組み）として、保安計画の取組状況について、保安委員会等の会議の議題に入れ、確認できるようになっている。	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	-	○ （Q194）	○	P38	-
	4. 内部監査やそれに準ずる取組で計画状況を確認できるようになっている。	Q184 内部監査やそれに準ずる取組で計画状況を確認できるようになっている。（鉱山保安MSの導入レベルとの関連性が高いとされる取組内容であるため、特に重要です。取組に着手し、現在の取組内容を深化させられれば、鉱山保安ＭＳの導入レベルが向上することが期待できます） ・手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ18-4を参照） ・手引書の解説にならって、ガイドブックP28の表に内部監査に準ずる方法例と記載しました。 ・手引書にガイドブックに掲載してある「鉱山保安ＭＳのしくみ評価例」の表を貼り、理解しやすくしました。	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	○	○ （Q195）	○	P38 P39	P28
Q19 保安計画を実行し、その進捗状況を定期的に確認し、その結果を評価改善内容の検討につなげているか？	2.保安計画に定めた実施内容が計画どおり実施されているか確認し、結果を評価改善内容の検討につなげている。	Q192 保安計画に定めた実施内容が計画どおり実施されているかを保安管理者等が確認し、結果を評価改善内容の検討につなげている。（例えば、計画と実績に分けて毎月進捗状況を確認できる様式を使うことによって行うことが考えられる。） ヒアリング調査にて設問に付されている例示以上に良い確認方法があれば解説等で紹介することを検討	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	-	-	○	P41 P42	-
	3.保安計画の実施状況等の点検及び改善を実施する手順を定め、この手順により実施している。	Q193 保安管理者等が保安計画の実施状況等の点検及び改善を実施する手順を定め、この手順により実施している。 手引書およびチェックリストの解説の下にフロー図を追記（フロー図シートQ19-3を参照）	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	-	-	○		-
	4. 保安計画の取組状況について、保安委員会等の会議の議題に入れ、確認し、結果を評価改善内容の検討につなげている。	Q194 保安計画の取組状況について、保安管理者等が保安委員会等の会議の議題に入れ、確認し、結果を評価改善内容の検討につなげている。	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	-	○ （Q183）	○		
	5. 内部監査やそれに準ずる取組で保安計画の実施状況を確認し、結果を評価改善内容の検討につなげている。	Q195 内部監査やそれに準ずる取組で確認した保安計画の実施状況の結果について、保安管理者等が評価改善内容の検討につなげている。（鉱山保安MSの導入レベルとの関連性が高いとされる取組内容であるため、特に重要です。取組に着手し、現在の取組内容を深化させられれば、鉱山保安ＭＳの導入レベルが向上することが期待できます） ・手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ19-5を参照） ・手引書およびチェックリストに内部監査についての解説を追加（解説の拡充シートQ18を参照）	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	○	○ （Q183） （Q184） （Q205）	○	P41 P42	-
Q20 保安目標（保安計画）について振り返り（評価・改善）を行っているか？	4.鉱山保安ＭＳの実施方法について保安委員会等の会議の議題に入れて、振り返りを行っている。	Q204 手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ20-4を参照）	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	-	-	○	P43 P44	-
	5. 内部監査やそれに準ずる取組を、事前に定めた間隔で実施し、その結果を踏まえたマネジメントレビューによる振り返りが行われている。	Q205 内部監査やそれに準ずる取組を事前に定めた間隔で実施し、経営トップ（保安統括者、鉱業権者等）はその結果を踏まえたマネジメントレビューによる振り返りを行っている。（鉱山保安MSの導入レベルとの関連性が高いとされる取組内容であるため、特に重要です。取組に着手し、現在の取組内容を深化させられれば、鉱山保安ＭＳの導入レベルが向上することが期待できます） 手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ20-5を参照） 手引書の用語解説欄にマネジメントレビューの解説を拡充（手引書_用語解説シートを参照） ガイドブックP29に手引書Q20を追記（マネジメントレビューに関する内容のため）	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	○	○ （Q195）	○	P8(用語解説) P43 P45	-

重点項目

ID	チェックリスト	判定チェック項目	改定方針(案)	改正案	改正案(ヒアリング結果を踏まえた反映)	備考（改正案の根拠など）	見直し対象		
							判定チェック	手引書	ガイドブック
1-1	Q1 経営トップは、鉱山労働者に対し自らの意思としてリスクアセスメントの重要性を表明し、これを推進するための経営資源（組織・予算等）を整備しているか。	5. 経営トップの表明内容を鉱山労働者が理解している。	リスク比による分析で災害との相関が大きいという分析結果が出たことから、重要度の高い項目であることを明記することを検討。また、アンケートにて「表明内容を理解している」の要件が分からないとの意見もあったため、取組事例の追記などを検討。また、「経営トップ」が何を示すのかが不明瞭であるため、手引書の用語解説の欄を拡充することを検討。 今年度調査で収集した取組事例は必要に応じて手引書等に追記する。	Q015 経営トップ（鉱業権者、保安統括者等）の表明内容を鉱山労働者が理解している。（災害発生と関連性が大きいとされる取組内容であるため、特に重要です。取組に着手し、現在の取組内容を深化させられれば、災害のリスクを減らすことが期待できます） ＜鉱山保安マネジメントシステムに関するFAQ P2に記載してある判断基準が参考になります＞ 手引書の用語解説の経営トップ欄の解説を以下のように修正（手引書_用語解説_経営トップ（鉱業権者、保安統括者等） を参照） 鉱山における方針および目標に関する最終的な責任を負う者であり、予算、人事権に関し権限を有する者を指します。自治体が運営している場合は、自治体の長ではなく保安統括者となっている担当課長などが該当します。また、大手系列の鉱山では、操業を行う法人の社長、所長クラスであっても上記権限を有する場合は経営トップに該当します。	ヒアリング前に検討した改正案から変更なし	ヒアリング対象鉱山から重点項目の観点での改正に対して、意見がなかったため変更なし	○	○	-
1-2	Q3 リスクアセスメントを実施するに当たり、対象作業・作業場所に関する情報を入手しているか？	5. 非定常作業についても、危険情報が抜け落ちないように留意している。	リスク比による分析で災害との相関が大きいという分析結果が出たことから、重要度の高い項目であることを明記することを検討。また、ヒアリング調査の結果、鉱山ごとに「非定常作業」の定義が異なるため、同様の取組状況であっても各鉱山のチェック結果にばらつきが生じている可能性があり、その実施方法や実施内容のレベルにも鉱山ごとのばらつきが見受けられるため、取組事例の追記などを検討。 今年度調査で収集した取組事例は必要に応じて手引書等に追記する。	Q035 非定常作業についても、危険情報が抜け落ちないように留意している。（災害発生と関連性が大きいとされる取組内容であるため、特に重要です。取組に着手し、現在の取組内容を深化させられれば、災害のリスクを減らすことが期待できます） ＜ガイドブック P34の【ＰＯＩＮＴ ⑤】 洗い出しの際に用意すべき情報についてが参考になります。＞ ＜解説の下部に記載のある取組例が参考になります＞ ・手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ3-5を参照） ・手引書に重大リスクに関する情報の例についての解説を拡充（解説の拡充シート Q3 重大リスクに関する情報の例についてを参照）、手引書に重大リスクに関する情報の例についての解説を拡充（解説の拡充シート Q3 重大リスクに関する情報の例についてを参照）、この拡充に伴いQ034に重大リスクの解説を参照するように追記 ・上記同様にガイドブックP4の「2.2.2. 鉱山保安マネジメントシステム上の課題～とくに中小零細規模鉱山について～の対象鉱山労働者の主な課題」に記載してある重大リスクの欄に重大リスクに関する情報の例を追加 なお、鉱山保安MSは鉱山保安法に基づき、鉱山労働者の危険性（健康被害は除く）に関わるリスク低減を主な目的としております。そのため、地域コミュニティへの影響、健康被害、環境影響の記載は、今回の修正範囲外とさせていただきました。 ・手引書にガイドブック P34の【ＰＯＩＮＴ ⑤】 洗い出しの際に用意すべき情報についてが参考になります。	ヒアリング前に検討した改正案から変更なし	ヒアリング対象鉱山から重点項目の観点での改正に対して、意見がなかったため変更なし	○	○	-
1-3	Q17 保安計画が現場の鉱山労働者まで浸透し、一丸となって実行されるような仕組みになっているか？	4. 保安計画の実施に当たり、保安委員会又は鉱山労働者代表の意見を反映している。	リスク比による分析で災害との相関が大きいという分析結果が出たことから、重要度の高い項目であることの明記や取組事例の追記などを検討。 今年度調査で収集した取組事例は必要に応じて手引書等に追記する。	Q174 保安計画の実施に当たり、保安委員会又は鉱山労働者代表の意見を反映している。（災害発生と関連性が大きいとされる取組内容であるため、特に重要です。取組に着手し、現在の取組内容を深化させられれば、災害のリスクを減らすことが期待できます） 手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ17-4を参照）	ヒアリング前に検討した改正案から変更なし	ヒアリング対象鉱山から重点項目の観点での改正に対して、意見がなかったため変更なし	○	○	-
1-4	Q18 保安計画は、その取組が予定どおり実施されているか確認できるようになっているか？	4. 内部監査やそれに準ずる取組で計画状況を確認できるようになっている。	項目応答理論分析により、取組の実施が難しいが、実施できた場合に鉱山保安ＭＳの導入レベルが向上する可能性が高いという分析結果が出たことから、重要度の高い項目であることの明記や取組事例の追記などを検討。 今年度調査で収集した取組事例は必要に応じて手引書等に追記する。	Q184 組織の体制（仕組み）として、内部監査やそれに準ずる取組で計画状況を確認できるようになっている。（鉱山保安MSの導入レベルとの関連性が高いとされる取組内容であるため、特に重要です。取組に着手し、現在の取組内容を深化させられれば、鉱山保安ＭＳの導入レベルが向上することが期待できます） ・手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ18-4を参照） ・手引書の解説にならって、ガイドブックP28の表に内部監査に準ずる方法例と記載しました。 ・手引書にガイドブックに掲載してある「鉱山保安ＭＳのしくみ評価例」の表を貼り、理解しやすくしました。	ヒアリング前に検討した改正案から変更なし	ヒアリング対象鉱山から重点項目の観点での改正に対して、意見がなかったため変更なし	○	○	○
1-5	Q19 保安計画を実行し、その進捗状況を定期的に確認し、その結果を評価改善内容の検討につなげているか？	5. 内部監査やそれに準ずる取組で保安計画の実施状況を確認し、結果を評価改善内容の検討につなげている。	項目応答理論分析により、取組の実施が難しいが、実施できた場合に鉱山保安ＭＳの導入レベルが向上する可能性が高いという分析結果が出たことから、重要度の高い項目であることの明記や取組事例の追記などを検討。 今年度調査で収集した取組事例は必要に応じて手引書等に追記する。	Q195 内部監査やそれに準ずる取組で確認した保安計画の実施状況の結果について、保安管理者などが評価改善内容の検討につなげている。（鉱山保安MSの導入レベルとの関連性が高いとされる取組内容であるため、特に重要です。取組に着手し、現在の取組内容を深化させられれば、鉱山保安ＭＳの導入レベルが向上することが期待できます） ・手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ19-5を参照） ・手引書およびチェックリストに内部監査についての解説を追加（解説の拡充シートQ18を参照）	ヒアリング前に検討した改正案から変更なし	ヒアリング対象鉱山から重点項目の観点での改正に対して、意見がなかったため変更なし	○	○	-
1-6	Q20 保安目標（保安計画）について振り返り（評価・改善）を行っているか？	5. 内部監査やそれに準ずる取組を、事前に定めた間隔で実施し、その結果を踏まえたマネジメントレビューによる振り返りが行われている。	項目応答理論分析により、取組の実施が難しいが、実施できた場合に鉱山保安ＭＳの導入レベルが向上する可能性が高いという分析結果が出たことから、重要度の高い項目であることの明記や取組事例の追記などを検討。 今年度調査で収集した取組事例は必要に応じて手引書等に追記する。	Q205 内部監査やそれに準ずる取組を事前に定めた間隔で実施し、経営トップ（保安統括者、鉱業権者等）はその結果を踏まえたマネジメントレビューによる振り返りを行っている。（鉱山保安MSの導入レベルとの関連性が高いとされる取組内容であるため、特に重要です。取組に着手し、現在の取組内容を深化させられれば、鉱山保安ＭＳの導入レベルが向上することが期待できます） 手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ20-5を参照） 手引書の用語解説欄にマネジメントレビューの解説を拡充（手引書_用語解説シートを参照） ガイドブックP29に手引書Q20を追記（マネジメントレビューに関する内容のため）	ヒアリング前に検討した改正案から変更なし	ヒアリング対象鉱山から重点項目の観点での改正に対して、意見がなかったため変更なし	○	○	-

取組内容が類似している可能性が高い判定チェック項目

ID	質問番号	チェックリスト項目	判定チェック項目	改正方針(案)	改正案	改正案(ヒアリング結果を踏まえた反映)	備考（改正案の根拠など）	見直し対象		
								判定チェック項目	手引書	ガイドブック
2-1	Q19-5	Q19 保安計画を実行し、その進捗状況を定期的に確認し、その結果を評価改善内容の検討につなげているか？	5. 内部監査やそれに準ずる取組で保安計画の実施状況を確認し、結果を評価改善内容の検討につなげている。	Q195とQ184は相関係数が高いと結果が出たが、Q184は保安計画の実施状況の確認を行っているか、Q195はその確認結果を評価改善内容の検討につなげているかを段階的に確認するものであり、相互の関連性は高いが設問の意図は異なっていると考えられる。 ヒアリング調査を行った結果、設問の意図は理解できるもののそれぞれの判定チェック項目に役割を明確にしたほうがより理解が深まると意見が寄せられたため、それぞれの質問内容に主語などを追記して明確にすることを検討する。	Q195 内部監査やそれに準ずる取組で確認した保安計画の実施状況の結果について、保安管理者等が評価改善内容の検討につなげている。	ヒアリング前に検討した改正案から変更なし	ヒアリング調査結果を踏まえ、ヒアリング前に示した改正案で理解できると鉱山から回答があったため、類似性の観点での変更はなしとすることを検討	○	○	-
	Q18-4	Q18 保安計画は、その取組が予定どおり実施されているか確認できるようになっているか？	4. 内部監査やそれに準ずる取組で計画状況を確認できるようになっている。		Q184 組織の体制（仕組み）として、内部監査やそれに準ずる取組で計画状況を確認できるようになっている。			○	○	-
2-2	Q20-5	Q20 保安目標（保安計画）について振り返り（評価・改善し、その結果を踏まえたマネジメントレビューによる振り返りが行われている。	5. 内部監査やそれに準ずる取組を、事前に定めた間隔で実施	Q205とQ195は相関係数が高いと結果が出たが、Q195は保安計画の実施状況を（保安管理者などが）確認・評価改善しているか、Q205はその確認結果を踏まえて（経営トップなどによる）マネジメントレビューが行われているかを段階的に確認するものであり、相互の関連性は高いが設問の意図は異なっていると考えられる。 ヒアリング調査を行った結果、設問の意図は理解できるもののそれぞれの判定チェック項目に役割を明確にしたほうがより理解が深まると意見が寄せられたため、それぞれの質問内容に主語などを追記して明確にすることを検討する。	Q205 内部監査やそれに準ずる取組を事前に定めた間隔で実施し、経営トップ（保安統括者、鉱業権者）はその結果を踏まえたマネジメントレビューによる振り返りを行っている。	ヒアリング前に検討した改正案から変更なし	ヒアリング調査結果を踏まえ、ヒアリング前に示した改正案で理解できると鉱山から回答があったため、類似性の観点での変更はなしとすることを検討	○	○	-
	Q19-5	Q19 保安計画を実行し、その進捗状況を定期的に確認し、その結果を評価改善内容の検討につなげているか？	5. 内部監査やそれに準ずる取組で保安計画の実施状況を確認し、結果を評価改善内容の検討につなげている。		Q195 内部監査やそれに準ずる取組で確認した保安計画の実施状況の結果について、保安管理者等が評価改善内容の検討につなげている。			○	○	-
2-3	Q06-2	Q6 見積られたリスクに対して、対策の優先度を設定するとともに、リスク低減措置を検討しているか？	2. 優先度の設定、リスク低減措置の検討結果を記録し、保存している。	Q062とQ052は相関係数が高いと結果が出たが、Q052は、特定したリスクの見積り結果を記録、保存しているか、Q062は、その結果を踏まえて、優先度の設定、リスク低減措置の検討結果を記録、保存しているかを段階的に確認するものであり、相互の関連性は高いが設問の意図は異なっていると考えられる。 ヒアリング調査を行った結果、それぞれの判定チェック項目の設問の意図は理解できると回答が得られた。そのため、判定チェック項目の内容は改正せずに現行のままとし、取組例やガイドブックへの対応箇所を明示することを検討。	Q062 各リスクについて対策優先度を設定し、リスク低減措置の検討結果を記録し、保存している <ガイドブックＰ16のステップ3リスク低減措置の優先度を検討が参考になります。>	Q062 優先度の設定、リスク低減措置の検討結果を記録し、保存している。 <ガイドブックＰ16のステップ3リスク低減措置の優先度を検討が参考になります。>	ヒアリング調査結果を踏まえ、現行の判定チェックのままで設問同士の意図が判別できると回答があったため、類似性の観点での変更はなしとすることを検討。 また、より理解を深めてもらうためにガイドブックに関係する箇所の文言は追記する	○	○	-
	Q05-2	Q5 特定したリスクの大きさについて鉱山労働者を交えて見積もっているか？	2. リスク見積もりの結果を記録し、保存している。		Q052 入手した情報から特定したリスクの見積もり結果を記録し、保存している。 <ガイドブックP15ステップ2リスクの見積りが参考になります。>	Q052 リスク見積もりの結果を記録し、保存している。 <ガイドブックP15ステップ2リスクの見積りが参考になります。>		○	○	-
2-4	Q07-2	Q7 リスク低減措置を設定した優先度に従い実施し、その実施状況を確認しているか？	2. 優先度に従い実施したリスク低減措置を記録し、保存している。	Q062とQ072は相関係数が高いと結果が出たが、Q062は、リスクの見積結果を受けて、優先度の設定、リスク低減措置の検討結果を記録、保存しているか、Q072は、その結果を踏まえて、リスク低減措置を設定した優先順位に従い、記録、保存しているかを段階的に確認するものであり、相互の関連性は高いが設問の意図は異なっていると考えられる。 ヒアリング調査を行った結果、それぞれの判定チェック項目の設問の意図は理解できると回答が得られた。そのため、判定チェック項目の内容は改正せずに現行のままとし、取組例やガイドブックへの対応箇所を明示することを検討。	Q072 対策優先度に従い実施した、実際のリスク低減措置の内容を記録し、保存している。 <ガイドブックＰ27のリスク低減措置後の評価改善①低減措置案の実施確認が参考になります。>	Q072 優先度に従い実施したリスク低減措置を記録し、保存している。 <ガイドブックＰ27のリスク低減措置後の評価改善①低減措置案の実施確認が参考になります。>	ヒアリング調査結果を踏まえ、現行の判定チェックのままで設問同士の意図が判別できると回答があったため、類似性の観点での変更はなしとすることを検討。 また、より理解を深めてもらうためにガイドブックに関係する箇所の文言は追記する	○	○	-
	Q06-2	Q6 見積られたリスクに対して、対策の優先度を設定するとともに、リスク低減措置を検討しているか？	2. 優先度の設定、リスク低減措置の検討結果を記録し、保存している。		Q062 各リスクについて対策優先度を設定し、リスク低減措置の内容を記録し、保存している。 <ガイドブックＰ16のステップ3リスク低減措置の優先度を検討が参考になります。>	Q062 優先度の設定、リスク低減措置の検討結果を記録し、保存している。 <ガイドブックＰ16のステップ3リスク低減措置の優先度を検討が参考になります。>		○	○	-
2-5	Q17-3	Q17 保安計画が現場の鉱山労働者まで浸透し、一丸となって実行されるような仕組みになっているか？	3. 上記2.[1]の手順を鉱山労働者に周知している。	Q172とQ173は相関係数が高いと結果が出たが、Q172は保安計画を実施する手順を定めているか、Q173はその手順を周知しているかを段階的に確認するものであり、相互の関連性は高いが設問の意図は異なっていると考えられる。 ヒアリング調査を行った結果、それぞれの判定チェック項目の設問の意図は理解できると回答が得られた。そのため、判定チェック項目の内容は改正せずに現行のままとし、取組例やガイドブックへの対応箇所を明示することを検討。	Q173 【手順を周知】上記２.で定めた保安計画を適切かつ継続的に実施する手順を鉱山労働者（現場レベル）に周知している。 <ガイドブックP24【計画の実施に関する工夫・留意点】が参考になります。>	Q173 上記2.[1]の手順を鉱山労働者に周知している。 <ガイドブックP24【計画の実施に関する工夫・留意点】が参考になります。>	ヒアリング調査結果を踏まえ、現行の判定チェックのままで設問同士の意図が判別できると回答があったため、類似性の観点での変更はなしとすることを検討。 また、より理解を深めてもらうためにガイドブックに関係する箇所の文言は追記する	○	○	-
	Q17-2	Q17 保安計画が現場の鉱山労働者まで浸透し、一丸となって実行されるような仕組みになっているか？	2. 保安計画に基づく活動等を実施するに当たっての具体的内容の決定方法、経費の執行方法等保安計画を適切かつ継続的に実施する手順を定めている。		Q172 【手順を策定】保安計画に基づく活動等の実施内容を決定する方法、経費の執行方法等、保安計画を適切かつ継続的に実施する手順を定めている。（手順については、文書のほか、口頭による取り決めも含む。下記、3.及び5.についても同様。） <ガイドブックP21のステップ2保安計画を立案が参考になります。>	Q172 保安計画に基づく活動等を実施するに当たっての具体的内容の決定方法、経費の執行方法等保安計画を適切かつ継続的に実施する手順を定めている。（手順については、文書のほか、口頭による取り決めも含む。下記、3.及び5.についても同様。） <ガイドブックP21のステップ2保安計画を立案が参考になります。>		○	○	-
2-6	Q04-5	Q4 入手した情報から保安を害する要因（リスク）について鉱山労働者を交えて特定しているか？	5. 非定常作業についてもリスクの特定を行っている。	Q035とQ045は相関係数が高いと結果が出たが、Q035は、非定常作業に関する危険情報の収集をしているか、Q045は、その危険情報から非定常作業に関するリスクを特定しているかを段階的に確認するものであり、相互の関連性は高いが設問の意図は異なっていると考えられる。 ヒアリング調査を行った結果、それぞれの判定チェック項目の設問の意図は理解できると回答が得られた。そのため、判定チェック項目の内容は改正せずに現行のままとし、取組例やガイドブックへの対応箇所を明示することを検討。	Q045 入手した危険情報を踏まえ、非定常作業についてもリスクの特定を行っている <ガイドブックP13のステップ1危険有害要因を洗い出す、P32【POINT②】のリスクの洗い出しが参考になります。>	5. 非定常作業についてもリスクの特定を行っている。 <ガイドブックP13のステップ1危険有害要因を洗い出す、P32【POINT②】のリスクの洗い出しが参考になります。>	ヒアリング調査結果を踏まえ、現行の判定チェックのままで設問同士の意図が判別できると回答があったため、類似性の観点での変更はなしとすることを検討。 また、より理解を深めてもらうためにガイドブックに関係する箇所の文言は追記する	○	○	-
	Q03-5	Q3 リスクアセスメントを実施するに当たり、対象作業・作業場所に関する情報を入手しているか？	5. 非定常作業についても、危険情報が抜け落ちないように留意している。		Q035 非定常作業に対する危険情報入手についても（過去の事故事例など）が漏れがないよう留意している。 <ガイドブック P34の【ＰＯＩＮＴ ⑤】 洗い出しの際に用意すべき情報についてが参考になります。>	5. 非定常作業についても、危険情報が抜け落ちないように留意している。 <ガイドブック P34の【ＰＯＩＮＴ ⑤】 洗い出しの際に用意すべき情報についてが参考になります。>		○	○	-
2-7	Q19-4	Q19 保安計画を実行し、その進捗状況を定期的に確認し、その結果を評価改善内容の検討につなげているか？	4. 保安計画の取組状況について、保安委員会等の会議の議題に入れ、確認し、結果を評価改善内容の検討につなげている。	Q183とQ194は相関係数が高いと結果が出たが、Q183は、保安計画の取り組み状況を会議にて確認できる状況となっているか、Q194はその結果を踏まえて評価改善内容を検討しているかを段階的に確認するものであり、相互の関連性は高いが設問の意図は異なっていると考えられる。 ヒアリング調査を行った結果、設問の意図は理解できるもののそれぞれの判定チェック項目に役割を明確にしたほうがより理解が深まると意見が寄せられたため、それぞれの質問内容に主語などを追記して明確にすることを検討する。	Q194 保安計画の取組状況について、保安管理者などが保安委員会等の会議の議題に入れ、結果を評価改善内容の検討につなげている。	ヒアリング前に検討した改正案から変更なし	ヒアリング調査結果を踏まえ、ヒアリング前に示した改正案で理解できると鉱山から回答があったため、類似性の観点での変更はなしとすることを検討	○	○	-
	Q18-3	Q18 保安計画は、その取組が予定どおり実施されているか確認できるようになっているか？	3. 保安計画の取組状況について、保安委員会等の会議の議題に入れ、確認できるようになっている。		Q183 組織の体制（仕組み）として、保安計画の取組状況について、保安委員会等の会議の議題に入れ、確認できるようになっている。			○	○	-
2-8	Q05-2	Q5 特定したリスクの大きさについて鉱山労働者を交えて見積もっているか？	2. リスク見積もりの結果を記録し、保存している。	Q052とQ043は相関係数が高いと結果が出たが、Q043は、特定した危険性又は有害性を記録・保存しているか、Q052はその特定した危険性又は有害性についてリスクの見積りを行い、結果を記録・保存をしているかを段階的に確認するものであり、相互の関連性は高いが設問の意図は異なっていると考えられる。 ヒアリング調査を行った結果、それぞれの判定チェック項目の設問の意図は理解できると回答が得られた。そのため、判定チェック項目の内容は改正せずに現行のままとし、取組例やガイドブックへの対応箇所を明示することを検討。	Q052 入手した情報から特定したリスクの見積もり結果を記録し、保存している。 <ガイドブックP15ステップ2リスクの見積りが参考になります。>	2. リスク見積もりの結果を記録し、保存している。 <ガイドブックP15ステップ2リスクの見積りが参考になります。>	ヒアリング調査結果を踏まえ、現行の判定チェックのままで設問同士の意図が判別できると回答があったため、類似性の観点での変更はなしとすることを検討。 また、より理解を深めてもらうためにガイドブックに関係する箇所の文言は追記する	○	○	-
	Q04-3	Q4 入手した情報から保安を害する要因（リスク）について鉱山労働者を交えて特定しているか？	3. 特定した危険性又は有害性を記録し、保存している。		Q043 Q3で入手した情報から特定したリスクの危険性又は有害性（特定したリスクから生じる事象・事故など）を記録し、保存している。	3. 特定した危険性又は有害性を記録し、保存している。		○	○	-

取組内容が類似している可能性が高い判定チェック項目

								見直し対象		
2-9	Q09-2	Q9 実施したリスク低減措置による効果の評価結果に基づき、措置の見直しを行っているか？	2. リスク低減措置の見直し結果を記録し、保存している。	Q092とQ082は相関係数が高いと結果が出たが、Q082は、リスク低減措置後（直後）の効果を評価しているか、Q092はリスク低減措置後（半年後などの一定の期間後）の実施内容を記録・保存をしているかを段階的に確認するものであり、相互の関連性は高いが設問の意図は異なっていると考えられる。 ヒアリング調査を行った結果、それぞれの判定チェック項目の設問の意図は理解できると回答が得られた。そのため、判定チェック項目の内容は改正せずに現行のままとし、取組例やガイドブックへの対応箇所を明示することを検討。	Q092 リスク低減措置の見直し結果（実施直後と一定期間後でどのような変化があったかなど）を記録し、保存している。 ＜ガイドブックＰ27のリスク低減措置後の評価改善③残留リスクの継続検討が参考になります。＞	2. リスク低減措置の見直し結果を記録し、保存している。 ＜ガイドブックＰ27のリスク低減措置後の評価改善③残留リスクの継続検討が参考になります。＞	ヒアリング調査結果を踏まえ、現行の判定チェックのままで設問同士の意図が判別できると回答があったため、類似性の観点での変更はなしとすることを検討。 また、より理解を深めてもらうためにガイドブックに関係する箇所の文言は追記する	○	○	-
	Q08-2	Q8 実施したリスク低減措置による効果を評価しているか？	2. リスク低減措置による効果の評価結果を記録し、保存している。		Q082 リスク低減措置実施直後の効果の評価（どういった効果があったか、今後どのような効果が生じるかなど）を記録し、保存している。 ＜ガイドブックＰ27のリスク低減措置後の評価改善②リスク低減措置後の効果とリスクレベルの評価が参考になります。＞	2. リスク低減措置による効果の評価結果を記録し、保存している。 ＜ガイドブックＰ27のリスク低減措置後の評価改善②リスク低減措置後の効果とリスクレベルの評価が参考になります。＞		○	○	-
2-10	Q06-2	Q6 見積られたリスクに対して、対策の優先度を設定するとともに、リスク低減措置を検討しているか？	2. 優先度の設定、リスク低減措置の検討結果を記録し、保存している	Q062とQ043は相関係数が高いと結果が出たが、Q043は、入手した情報に基づき危険性または有害性を特定し、記録・保存しているか、Q062は、特定した危険性又は有害性についてリスクの見積もりを行い、対策の優先度を設定し、リスク低減措置の検討結果を記録・保存しているかを段階的に確認するものであり、相互の関連性は高いが設問の意図は異なっていると考えられる。 ヒアリング調査を行った結果、それぞれの判定チェック項目の設問の意図は理解できると回答が得られた。そのため、判定チェック項目の内容は改正せずに現行のままとし、取組例やガイドブックへの対応箇所を明示することを検討。	Q062 各リスクについて対策優先度を設定し、リスク低減措置の検討結果を記録し、保存している。 ＜ガイドブックＰ16のステップ3リスク低減措置の優先度を検討が参考になります。＞	2. 優先度の設定、リスク低減措置の検討結果を記録し、保存している ＜ガイドブックＰ16のステップ3リスク低減措置の優先度を検討が参考になります。＞	ヒアリング調査結果を踏まえ、現行の判定チェックのままで設問同士の意図が判別できると回答があったため、類似性の観点での変更はなしとすることを検討。 また、より理解を深めてもらうためにガイドブックに関係する箇所の文言は追記する	○	○	-
	Q04-3	Q4 入手した情報から保安を害する要因（リスク）について鉱山労働者を交えて特定しているか？	3. 特定した危険性又は有害性を記録し、保存している。		Q043 Q3で入手した情報から特定したリスクの危険性又は有害性（特定したリスクから生じる事象・事故など）を記録し、保存している。	3. 特定した危険性又は有害性を記録し、保存している。		○	○	-

理解しにくい判定チェック項目

ID	チェックリスト	判定チェック項目	改定方針(案)	改正案	改正案(ヒアリング結果を踏まえた反映)	備考（改正案の根拠）	見直し対象		
							判定チェック項目	手引書	ガイドブック
3-1	Q11:保安方針について、鉱山労働者に浸透するよう取り組んでいるか？	４．表明した保安方針を記載した「安全に関する手帳」や「ポケットカード」などを鉱山労働者が所持している。	記載された内容を保安週間などで読み合わせする等により、保安意識の啓発の効果が期待できると鉱山から意見があったが、一方で「配布するのみでは形骸化しやすく効果的な運用が難しい」、「判定チェック項目の設問としては不適切である」との意見もあった。このような意見を反映してか、分析結果では、Q114は最もチェック率が低い判定チェック項目であった。このため、判定チェック項目からの削除、もしくは「繰り返しの認識付けを実施している」ことを判定チェック項目の要件とするような設問の修正や、個別の取組事例の追記など解説等の拡充を検討する。	Q114 表明した保安方針を鉱山労働者に対し繰り返し認識付ける取り組み、ツールなどがあるか 手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ11-4を参照）	ヒアリング前に検討した改正案から変更なし	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	○	○	-
3-2	Q16：保安計画の各取組に対して目標（期待される効果等）を検討しているか？	３．保安計画の各取組に対して、期待される効果が検討されている。 ４．保安計画の各取組に対する期待される効果及び目標（値）を文書にしている。 ５．保安計画の各取組に対する目標は保安委員会又は鉱山労働者代表の意見を反映している。	Q16の保安計画の各取組に期待される効果の検討状況について、「活動内容や目標を見れば効果は自明」等の意見もあり、無災害を継続している鉱山等では必要性を認識しにくいのではないかと考えられる。一方でガイドブック（p38、39）には、保安計画表の記入例が記載されており、「実施内容（期待する効果）」や「目標（値）」についても例示がある。また解説やFAQにおいては、「期待する効果」の検討が重要であることが示されている。このため、期待する効果の検討の重要性や必要性をより訴求するために、個別の取組事例の追記など解説等の拡充を検討する。	Q16-3,4,5 手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ16-3、4、5を参照） ガイドブックP19に以下を追加します。 ※期待する効果の重要性 期待する効果を記載することで、取り組みの目的と意義が明確になります。何のためにこの計画を実行するのか、何を実現したいのかが明確に示されることで、鉱山労働者全員が同じ方向を向いて取り組みを進めることが期待できます。 ガイドブックP38に期待する効果の例を追加します。 ・リスクレベルが「すべて気になる」まで低下する ・活発な議論により、多くの検討がなされる ・手引書に期待される効果の例についての解説を拡充（解説の拡充シート Q16 期待される効果の例についてを参照）	ヒアリング前に検討した改正案から変更なし	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	○	○	○
3-3	Q18保安計画は、その取組が予定どおり実施されているか確認できるようになっているか？	4.内部監査やそれに準ずる取組で計画状況を確認できるようになっている。	内部監査やそれに準ずる取組という文言が理解しにくいとの意見があった。そのため、自己点検チェックリスト（手引書）の解説の拡充やガイドブックに具体的事例等を用いた、より理解しやすい記載を行う。	Q184 ・手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ18-4を参照） ・手引書の解説にならって、ガイドブックP28の表に内部監査に準ずる方法例を以下のように記載することを想定しています。 鉱山保安ＭＳのしくみ評価例（Q184　内部監査に準ずる方法）	ヒアリング前に検討した改正案から変更なし	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	○	○	○
3-4	Q19保安計画を実行し、その進捗状況を定期的に確認し、その結果を評価改善内容の検討につなげているか？	2.保安計画に定めた実施内容が計画どおり実施されているか確認し、結果を評価改善内容の検討につなげている。	Q19については「計画通りに実行されているかの確認（Q192）」や「実施状況の点検及び改善を実施する手順を定める（Q193）」など取組内容がより詳細化、高度化するにしたがって、実施できている鉱山が少なくなっているところ、「『計画通りの実行をする』ことだけでは評価改善に反映できない」「保安計画の実施状況についての点検や改善に関しては、手順を定める必要はないと考える」等の意見もあった。 Q193については、手順など明文化されたものがあると一定の再現性があり、取組の水準を維持しやすいと考えられるため、保安計画の実施状況等の点検及び改善を実施する手順に関するフロー図を追記するなど、解説の拡充などを検討する。 また、Q192については、今年度調査において鉱山の実際の取組状況を確認するなどし、設問に付されている例示以上に良い確認方法があれば解説等で紹介することを検討する。内部監査やそれに準ずる取組という文言が理解しにくいとの意見があった。そのため、自己点検チェックリスト（手引書）の解説の拡充やガイドブックに具体的事例等を用いた、より理解しやすい記載を行うことを検討する。	Q193 設問の主語を明確化（手引書を参照） 手引書およびチェックリストの解説の下にフロー図を追記（フロー図シートQ19-3を参照） Q192 設問の主語を明確化（手引書を参照） ヒアリング調査にて設問に付されている例示以上に良い確認方法があれば解説等で紹介することを検討	ヒアリング前に検討した改正案から変更なし	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	○	○	-
		3.保安計画の実施状況等の点検及び改善を実施する手順を定め、この手順により実施している。					○	○	-
3-5		5.内部監査やそれに準ずる取組で保安計画の実施状況を確認し、結果を評価改善内容の検討につなげている。	内部監査やそれに準ずる取組という文言が理解しにくいとの意見があった。そのため、自己点検チェックリスト（手引書）の解説の拡充やガイドブックに具体的事例等を用いた、より理解しやすい記載を行うことを検討する。	Q195 手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ19-５を参照） 手引書およびチェックリストに内部監査についての解説を追加（解説の拡充シートQ18を参照）	ヒアリング前に検討した改正案から変更なし	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	○	○	-

理解しにくい判定チェック項目

							見直し対象		
3-6	Q20保安目標（保安計画）について振り返り（評価・改善）を行っているか？	4.鉱山保安ＭＳの実施方法について保安委員会等の会議の議題に入れて、振り返りを行っている。	ガイドブックp28に示されているような俯瞰的なチェックにより振り返るのではなく、総数99の判定チェック項目のそれぞれの内容について、実施方法を振り返ることと解釈されている鉱山もあった。そのため、鉱山保安MSの実施方法の振り返りに関する具体的事例を手引書に記載することを検討する。	Q204 手引書およびチェックリストに取組例を追記（取組例シートQ20-4を参照）	ヒアリング前に検討した改正案から変更なし	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	○	○	-
3-7		5.内部監査やそれに準ずる取組を、事前に定めた間隔で実施し、その結果を踏まえた マネジメントレビューによる振り返りが行われている。	内部監査やそれに準ずる取組やマネジメントレビューという文言が理解しにくいとの意見があった。そのため、手引書の解説拡充、用語解説に追加やガイドブックに具体的事例等を用いた、より理解しやすい記載を行うことを検討する。	Q205 手引書の用語解説欄にマネジメントレビューの解説を拡充 （手引書_用語解説シートを参照）	ヒアリング前に検討した改正案から変更なし	ヒアリング対象鉱山から改正案に対し理解しやすくなったという意見があったためヒアリング調査前の改正案から変更なし	○	○	-

取組例

参考：令和5年度石油・ガス供給等に係る保安対策調査等事業（鉱山における危害防止のための実態調査）

Q3-5 取組例 非定常作業についても、危険情報が抜け落ちないように留意している。	備考
作業前ＫＹは作業当日の朝礼時に各作業分担で一人ずつ、想定危険（ヒヤリハット、キガカリ情報など）と対策等の留意点を非定常作業の観点を含め発表し、発表内容の記録・保存をしている。	令和5年度事業報告書_4.4.2 災害発生と相関が大きい判定チェック項目に関する質問のP88【A鉱山】の取組内容を参考に記載しています。
リスクが高いと思われる作業については、現場管理者が指示をして作業直前の打ち合わせ時にもＫＹを実施している。	令和5年度事業報告書_4.4.2 災害発生と相関が大きい判定チェック項目に関する質問のP88【A鉱山】の取組内容を参考に記載しています。
非定常作業に対しては、事前に作業計画書を作成し、統括管理者、保安管理者による承認を得ている。また、作業前打ち合わせでリスクを洗い出している。	令和5年度事業報告書_4.4.2 災害発生と相関が大きい判定チェック項目に関する質問のP92【H鉱山】の取組内容を参考に記載しています。
非定常作業は、木の伐採や建物の解体作業等と認識し、メンテナンス作業は定常作業として認識している。	令和5年度事業報告書_4.4.2 災害発生と相関が大きい判定チェック項目に関する質問のP89【C鉱山】の取組内容を参考に記載しています。

Q11-4 取組例 表明した保安方針を記載した「安全に関する手帳」や「ポケットカード」などを鉱山労働者が所持している。	備考
保安方針を表明して終わりではなく、繰り返し認識付ける機会（理解度チェックなど）を設けている。	令和5年度事業報告書_5.1.4 ポケットカード、安全手帳等の配布について P114の図表60を参考に記載しています。
毎年実施している保安週間や全員が集まる会合などの機会に保安方針の読み合わせをしている。	令和5年度事業報告書_5.1.4 ポケットカード、安全手帳等の配布について P114の図表60を参考に記載しています。
打ち合わせ時に保安方針を定期的に読み合せている。	令和5年度事業報告書_5.1.4 ポケットカード、安全手帳等の配布について P114の図表60を参考に記載しています。
表明した保安方針を記載した「安全に関する手帳」や「ポケットカード」などを利用している	監督部からの意見を参考に記載しています。

Q16-3 取組例 保安計画の各取組に対して、期待される効果が検討されている。	備考
前年度の実績を踏まえて、期待する効果から具体的な取組を決めている。	令和5年度事業報告書_2-11-1 判定チェック項目Q16-3についてのP199 の取組内容を参考に記載しています。
目的を明確にした計画になるように、目的別に仕分けした計画様式にしている。	令和5年度事業報告書_2-11-1 判定チェック項目Q16-3についてのP199 の取組内容を参考に記載しています。
保安計画及び目標制定にあたっては、背景とその効果の検証に基づき各目標を設定している。	令和5年度事業報告書_2-11-1 判定チェック項目Q16-3についてのP199 の取組内容を参考に記載しています。

Q16-4 取組例 保安計画の各取組に対する期待される効果及び目標（値）を文書にしている。	備考
保安計画及び目標制定にあたっては、背景とその効果の検証に基づき各目標を文書にしている。	令和5年度事業報告書_2-11-4 判定チェック項目Q16-4についてのP201 の取組内容を参考に記載しています。
各取組に対する期待される効果及び目標（値についてはなるべく定量化を計るように数値化した値を取り入れている。）	令和5年度事業報告書_2-11-4 判定チェック項目Q16-4についてのP201 の取組内容を参考に記載しています。

Q16-5 取組例 保安計画の各取組に対する目標は保安委員会又は鉱山労働者代表の意見を反映している。	備考
会合や打ち合わせ等を通し、各職場の意見を反映させている。	令和5年度事業報告書_2-11-7 チェック項目Q16-5についてのP202の取組内容を参考に記載しています。
会合や打ち合わせ等で発言が苦手な労働者には日々の巡視時に声をかけるようにして意見聴収している。	令和5年度事業報告書_2-11-7 チェック項目Q16-5についてのP202の取組内容を参考に記載しています。
Ø 保安計画の目標は、保安委員、全鉱山労働者から保安委員会で、意見を聞いている。	令和5年度事業報告書_2-11-7 チェック項目Q16-5についてのP202の取組内容を参考に記載しています。

取組例

参考：令和5年度石油・ガス供給等に係る保安対策調査等事業（鉱山における危害防止のための実態調査）

Q17-4 取組例 4. 保安計画の実施に当たり、保安委員会又は鉱山労働者代表の意見を反映している。	備考
保安に関する委員会などで作成された保安計画や労働者の改善要望などの意見を、社内伝言等で、定期的に社内全体に周知している。	令和5年度事業報告書_4.4.2 災害発生と相関が大きい判定チェック項目に関する質問のP94【D鉱山】の取組内容を参考に記載しています。
定期的に職場懇談会等全員が集まる会合が行われ、保安、生産状況や計画、環境への配慮、工事の予定、注意事項や社内通達の共有、現場の改善要望などの意見吸い上げている。この会合の議論や意見が反映される形で、各職場の保安計画が作成されている。	令和5年度事業報告書_4.4.2 災害発生と相関が大きい判定チェック項目に関する質問のP94【D鉱山】の取組内容を参考に記載しています。
部署、職位の垣根を超えた情報交換が可能となるような機会・体制を画策し、コミュニケーション向上を図り、得られた情報を保安計画に反映している。	令和5年度事業報告書_4.4.2 災害発生と相関が大きい判定チェック項目に関する質問のP95【F鉱山】の取組内容を参考に記載しています。

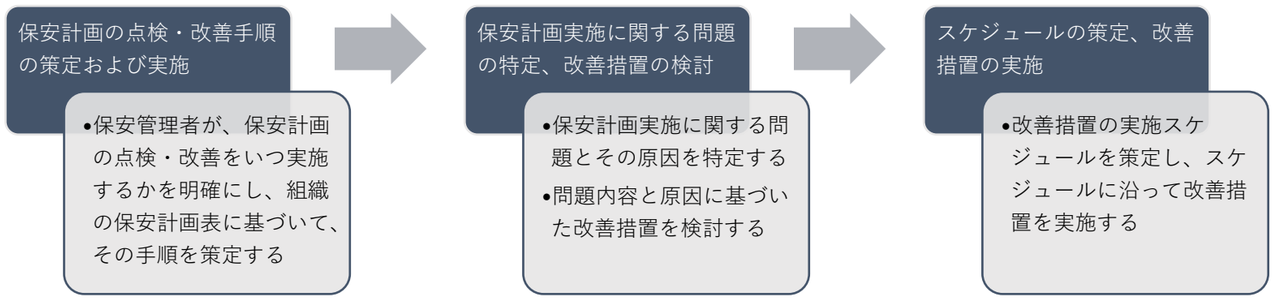
Q18-4 取組例 4. 内部監査やそれに準ずる取組で計画状況を確認できるようになっている。	備考
保安統括部署は、内部監査実施前に、チェックリストに基づいた回答と、エビデンス（証拠）資料を提出することを義務付け、現場は監査予定の指定された日にちまでに、チェックリストへの回答とエビデンス（証拠）資料を保安統括部署に提出している。	令和5年度事業報告書_4.4.3 導入レベルとの相関が大きい判定チェック項目に関する質問のP97【A鉱山】の取組内容を参考に記載しています。
内部監査は、自社の他鉱山の保安管理者等、複数名を招き、1日かけて実施している。（午前は書類確認、午後は現場確認を行っている）	令和5年度事業報告書_4.4.3 導入レベルとの相関が大きい判定チェック項目に関する質問のP97【B鉱山】の取組内容を参考に記載しています。
内部監査は監査部が実施する業務監査、保安関係の部署による監査と分けて実施し、保安計画に関する調査を実施している。	令和5年度事業報告書_4.4.3 導入レベルとの相関が大きい判定チェック項目に関する質問のP98【D鉱山】の取組内容を参考に記載しています。

Q19-5 取組例 5. 内部監査やそれに準ずる取組で保安計画の実施状況を確認し、結果を評価改善内容の検討につなげている。	備考
外部機関の調査の結果や過去災害・事例を参考に、保安統括部署が保安計画を作成し、その素案を管理職クラスに回覧し、意見を聴収する。その後保安委員会で内容の是非を図っている。	令和5年度事業報告書_4.4.3 導入レベルとの相関が大きい判定チェック項目に関する質問のP103【D鉱山】の取組内容を参考に記載しています。
保安計画の見直し（次年度の計画の検討）は、内部監査の結果、保安委員会等の意見、保安集会の記録、他鉱山の災害情報などをもとに検討している。	令和5年度事業報告書_4.4.3 導入レベルとの相関が大きい判定チェック項目に関する質問のP103【E鉱山】の取組内容を参考に記載しています。
保安計画の進捗状況を確認する時期、タイミングを定め定期的に進捗確認をしている	令和5年度事業報告書_4.4.3 導入レベルとの相関が大きい判定チェック項目に関する質問のP102【B鉱山】の取組内容を参考に記載しています。

Q20-4 取組例 4.鉱山保安ＭＳ の実施方法について保安委員会等の会議の議題に入れて、振り返りを行っている。	備考
保安委員会などで保安目標および保安計画の策定を行っている。その後、保安計画の進捗状況と各職場の保安目標達成に向けた取組状況（発表形式による）を各部署の会合などで確認している。確認の結果、遅延している対策や項目については、速やかに具体的な行動計画の見直しを行っている。	令和5年度事業報告書_2-15-4 判定チェック項目Q20-4についてのP215の取組内容を参考に記載しています。

Q20-5 取組例 5.内部監査やそれに準ずる取組を、事前に定めた間隔で実施し、その結果を踏まえたマネジメントレビューによる振り返りが行われている。	備考
保安統括者は、内部監査等の結果を踏まえ振り返りを行い、その結果を本社に報告し、レビューを受ける。レビュー結果を踏まえ、保安に係る予算申請を行っている。	令和5年度事業報告書_4.4.3 導入レベルとの相関が大きい判定チェック項目に関する質問のP105【A鉱山】の取組内容を参考に記載しています。
年度末などの区切りで保安委員会において、保安統括者による保安計画の振り返りを行っている。	令和5年度事業報告書_4.4.3 導入レベルとの相関が大きい判定チェック項目に関する質問のP106【C鉱山】の取組内容を参考に記載しています。
保安検査のマネジメントレビューによる振り返りは保安委員会の際に保安統括者が都度意思決定し、実施している。	令和5年度事業報告書_4.4.3 導入レベルとの相関が大きい判定チェック項目に関する質問のP107【F鉱山】の取組内容を参考に記載しています。
定期的に経営トップ（社長や保安統括者）がテーマを決めたうえで、現場パトロールを実施している。	令和5年度事業報告書_5.5 本事業における調査から得られた取組事例(2) 内部監査に準ずる取組のP124の【E鉱山】取組内容を参考に記載しています。

フロー図(Q19-3)　保安計画の実施状況等の点検及び改善を実施する手順を定め、この手順により実施している。
手引書のQ１９の解説欄にフロー図を追加します



Q16 【解説】

各取り組みを「KY 教育」とした場合、 各取り組みの目標（値）は、「実施回数」「受講者数」「受講率」等に なり、

各取り組みの期待される効果は、「鉱山労働者が回転体に対する危険性を理解する」等となります。

□Q18 内部監査 について

内部監査では客観的に確認できる（誰が確認しても同じ結果となる）仕組みが重要です。

内部監査等は、保安管理者が実施することも可能ですが、できれば直接鉱山保安ＭＳに関与していないメンバーで構成することが望まれます。

「それに準ずる取組」には、例えば、上記のような内部監査を行うまでもなく、経営トップが現場対策やその対策の検討の仕組み等を頻繁かつ直接確認している場合や、

直接でなくても保安管理者などと普段から十分にディスカッションする習慣がある状態などが考えられます。

また、ガイドブックP28 のしくみ評価も「内部監査に準じる方法」などと考えられます。

鉱山保安ＭＳのしくみ評価例（ガイドブックP28）□

	チェック項目	しくみ評価（例） （○△×などの記号だけでなく、出来るだけコメントをいれる）	
方針	1. 保安方針の内容は具体的で、保安目標、保安計画に反映されていますか	△	保安方針は具体的内容とした極力、重点事項については目標や計画に反映したが、十分とは言えない
	2. 経営トップ自らが保安方針を従業員に説明していますか	○	全員が集まる場で、短い時間でも繰り返し保安方針の考え方を伝えた
	3. 保安会議などを組織し、保安管理者、保安会議メンバーの役割を明確にしていますか	○	新たに保安会議を組織し、各班から保安会議メンバーを選出した
P（計画）	4. ＲＡを実施し、優先的に実施するリスク低減措置を決めていますか	△	危険有害要因洗い出しカードを活用した RA を実施したが、全員参加ではない リスク評価結果に基づくリスク低減措置を検討できた
	5. 保安目標は期待する効果を意識した項目になっていますか	○	期待する効果を意識して目標設定を行った
	6. ＲＡの結果を反映させ、重点項目を絞った計画になっていますか	△	重点項目を絞った計画としたが、まだ実施項目として対策の検討が十分でない
	7. 事業環境や組織環境の変化に対応し、保安計画に予算を配分していますか	×	分析が不十分で投資効果を把握しにくい面もあり、環境変化に対しての予算配分は行えていない
D（実施）	8. 計画の実施状況について日常的に点検とフォローがなされていますか	△	保安会議で毎月の実施状況をチェックさせる機能をもたせた。教育についてはチェックが曖昧で未受講者が発生した。
C・A（評価・改善）	9. 経営会議や幹部会で定期的に鉱山保安 MS の運用状況を報告していますか	○	実施計画表に基づき、毎月進捗状況の報告があり、参加者で情報共有できた
	10. 前年度の見直し（A）の内容が次年度の計画（P）に反映されていますか	―	これからの作業になるが、課題が明確化されたので、次年度保安計画に反映していきたい

□Q3 重大リスクに関する情報の例

【解説】

大きなリスクから優先的に改善を行うために、作業現場や会社全体における危険性又は有害性に関する次のような具体的な資料をできるだけ多く収集する必要があります。入手すべき情報としては、ヒヤリハットや危険予知活動の事例、安全パトロールの結果、類似災害情報等があり、これらのうち必要な情報を鉱山労働者から報告させる仕組みが必要です。その他、作業標準、作業手順書、作業環境測定結果、機械設備の仕様書やレイアウト、操作（取扱）説明書、各種マニュアル等、地質図や柱状図等の調査データ、等の情報も必要に応じて活用すると良いでしょう。作業標準等が定められていない機械設備等の保守点検作業や補修作業等の非定常作業についても、危険情報が抜け落ちることのないよう、留意する必要があります。

さらに重大リスクについても危険情報が抜け落ちることのないよう、留意する必要があります。

重大リスクの例

①死者又は４週間以上の休業見込みの負傷者が生じた災害

②３日以上の休業見込みの負傷者が同時に５人以上生じた災害

第1回鉱山等安全対策検討委員会の意見を踏まえて、重大リスクについての解説を拡充しました。

なお、鉱山保安MSは鉱山保安法に基づき、鉱山労働者の危険性（健康被害は除く）に関わるリスク低減を主な目的としております。

そのため、地域コミュニティへの影響、健康被害、環境影響の記載は、今回の修正範囲外とさせていただきました。

手引書Ｐ８　【用語の解説】

経営トップ（鉱業権者、保安統括者等）	鉱山における方針および目標に関する最終的な責任を負う者であり、予算、人事権に関し権限を有する者を指します。自治体が運営している場合は、自治体の長ではなく保安統括者となっている担当課長などが該当します。また、大手系列の鉱山では、操業を行う法人の社長、所長クラスであっても上記権限を有する場合は経営トップに該当します。
リスクアセスメント	この手引書では、潜在的な保安を害する要因を特定し、災害等が発生した場合の重大性と発生可能性の度合等によってリスクを見積もり、それぞれのリスクに優先度を設定しリスク低減のための措置内容を検討することをいいます。改正鉱山保安法において、鉱業権者に対して義務として課された『現況調査』と同義です。
保安方針	経営トップが表明するものであり、自らの理念、哲学等に基づき保安に関する基本的な考え方を表明するものです。また、表明した保安方針については、社内への掲示、文書の配布等により、鉱山労働者へ浸透させることが重要です。
保安目標	自らが達成すべきものとして定めた１年後の到達点です（軽傷以上の災害ゼロ等）。
保安計画	保安目標を１年後に達成するために、取組（手段）の具体的内容を計画として定めたものです。鉱山の規模や操業形態等、各鉱山の実情に合わせて策定します。
マネジメントレビュー	経営トップ（鉱業権者、保安統括者等）が内部監査等の結果を把握し、保安に対する経営資源投入について検討します。